

市町村名	金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	プロスポーツ受入事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成28年～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域活性化	
事業内容	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。						
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	51,793	47,174	47,393	53,316	53,316
		(b)予算現額	51,793	46,126	51,928	53,316	53,316
		(c)増減額(b-a)	0	▲1,048	4,535	0	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	51,793	46,126	51,928	53,316	53,316
	B.執行済額		43,014	46,126	51,928	52,821	54,895
	うち交付金充当額		34,410	36,900	41,465	42,256	43,916
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		83.0%	100.0%	100.0%	99.1%	103.0%
予算の状況の説明		令和5年度は受入チームが増えたことにより当初予算より増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	競技環境の整備(芝管理、グラウンド整備)	目標	(芝管理、グラウンド整備)	(芝管理、グラウンド整備)	(芝管理、グラウンド整備)	(芝管理、グラウンド整備)	
		実績	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備	芝管理、グラウンド整備	
	見学者受入体制の整備(清掃、会場整理等対策)	目標	(清掃、感染対策の実施)	(清掃、感染対策の実施)	(清掃、感染対策の実施)	(清掃、会場整理対策の実施)	
		実績	清掃、感染対策の実施	清掃、感染対策の実施	清掃、感染対策の実施	清掃、会場整理対策の実施	
	プロスポーツ受入体制構築(テント設置、プレハブ設置)	目標	(テント設置、プレハブ設置)	(テント設置、プレハブ設置)	(テント設置、プレハブ設置)	(テント設置、プレハブ設置)	
		実績	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置	テント設置、プレハブ設置	
	スポーツ教室の開催	目標	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)	
		実績	2回	2回	2回	3回	
達成状況説明	競技環境の整備や受入体制を強化することで、継続した4チームを含む計6チーム受入れることができた。スポーツ教室については、受入チームが増えたことで目標を上回る3回の開催することができた。						

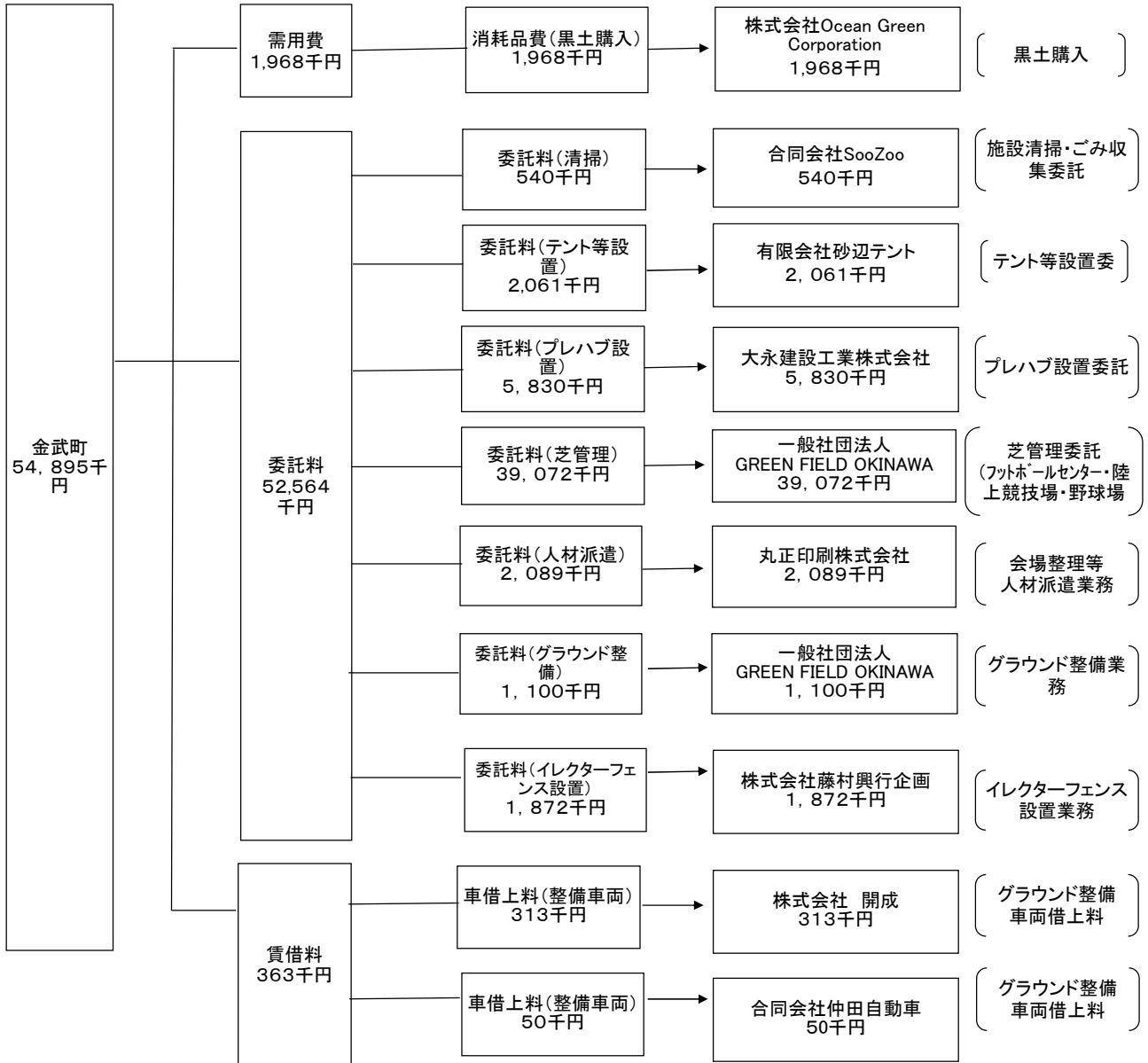
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	R5年度プロチームキャンプの受入4チーム以上	目 標	()	(4チー ム)	(4チー ム)	(4チー ム)	()	
		実 績		4チー ム	5チー ム	6チー ム		
進 捗 状 況 説 明	競技環境の良好さもあり、韓国プロ野球チームを1チーム、ソフトボール女子日本代表チームも受け入れることができ目標以上6チームを受入れることができた。また、令和5年度については、年間を通して環境整備を図ることで、継続的なキャンプの実施や、長期間の実施が見られるなど、事業の効果が得られたと考える。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	近年、受入チームが徐々に定着し、キャンプ実施期間についても延びている状況である。そのため、今後は定着している4チームの受入態勢を完全に整えることが適当であると考え。 プロ野球については、令和4年度から正式に1次キャンプからの実施となったことで、来場者の増加の他、屋内運動場も供用開始となり、必要な準備等も増える可能性がある。	引き続きキャンプを受入れることができるよう、最善の準備に努めなければならない。また、定着化が進む中、キャンプ期間中を含め年間を通じた交流等についても検討を要する。
今後の取り組み方針		
これまで実施してきたグラウンド整備や良好な環境づくり、必要な準備を整えながら継続したキャンプを実施できるよう取り組む。受入チームの定着化に伴い、期間が延長されことや屋内運動場の利活用も視野に入れ、長期間のキャンプとなった場合にも対応できるよう、球団と密に連携を図る。また、キャンプ期間を含め年間を通じた交流ができるよう、球団や関係自治体と連携した取り組みを図る。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
54,895	54,895	43,916	10,979	



資金 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約で契約したが、金武町財務規則に基づいて契約締結しており、選定方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○概ね予定していた通りに事業を執行できており、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	金武町観光振興等推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和元年～令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光推進		
事業内容	本町の魅力ある観光資源を活用し、情報発信、誘客拡大、町内周遊、エコツーリズム観光の推進することで、観光振興による地域産業の活性化に資する。また、感染症に係る移動制限等が緩和されたことで、地域活性化イベント等を開催し町への誘客を図るとともに町の観光情報等を効果的に発信する。						
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	46,622	53,465	69,971	49,995	50,386
		(b)予算現額	36,317	59,688	59,851	53,472	50,386
		(c)増減額(b-a)	-10,305	6,223	-10,120	3,477	0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	36,317	59,688	59,851	53,472	50,386	
	B. 執行済額	37439	59688	59851	53,472	50,386	
	うち交付金充当額	26708	47750	47880	42,256	40,308	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	103.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の計画どおり、執行することができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	本町の観光振興に向けて、観光関連団体と他産業との連携を強化し、戦略的な観光振興を推進する。	目 標	()	()	()	(連携強化)	
		実 績				連携強化	
	県外観光物産PR・イベント誘客(プロスポーツチームコラボ企画)	目 標	()		()	(2件)	
		実 績				2件	
	県内観光物産PR	目 標	()		()	(3件)	
		実 績				3件	
	達成状況説明	感染症の移動制限等が緩和されたことにて、地域活性化イベントや観光物産PRに注力したことから、多くの来場者があった。情報発信についてはイベント等と関連づけることで効果的に発信することができた。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度
媒体等による情報発信		目 標	()	()	(9件)	(9件)	()
		実 績			21件	7件	
観光物産PRブース来場者数		目 標	()	(1,972人)	(1,972人)	(1,972人)	()
		実 績		194人	2,000人	3,580人	
進捗状況説明		感染症の移動制限等が緩和されたため、地域活性化イベントや観光物産PRに注力したことから、多くの来場者があった。情報発信についてはイベント等と関連づけることで効果的に発信することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	町では、既存の観光資源の他、温泉ホテルやKINサンライズビーチなどの近年開業した施設を活用した新たな観光需要の取り込みや町内周遊の取り組みが必要となる。 コロナ禍があげ、イベント等が開催できるようになったため、媒体等による情報発信よりも実際のイベント等へ注力したため、目標の達成ができなかった。	温泉ホテルやKINサンライズビーチの周知を図るための情報発信やイベント等を実施し、「知ってもらう」「来てもらう」の取り組みを行う必要がある。 今後は、イベント等への注力とともに、イベント等の周知のために情報発信にも力を入れていく。
今後の取り組み方針		
「知ってもらう」「来てもらう」情報発信やビーチ等での誘客イベントを強化するとともに、本町の豊かな自然環境を活かしたアクティビティや充実した体育施設、医療施設、温泉施設等が一体となった観光メニュー等について、関連団体と取り組むことで新たな観光需要の取り込みや町内周遊に繋げる。		

資金の流れ														
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50,386</td><td>50,386</td><td>40,308</td><td>10,078</td><td></td></tr> </tbody> </table> 金武町 50,386千円 委託料 42,796千円 一般社団法人 金武町観光協会 42,796千円 金武町観光振興 推進事業 委託料 4,290千円 特定非営利活動法人雄飛 ツーリズムネットワーク 4,290千円 地域活性化イベント 金武町たんぼフェスタ 委託料 3,300千円 金武町商工会 3,300千円 沖縄県内観光物産PR事業					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	50,386	50,386	40,308	10,078	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
50,386	50,386	40,308	10,078											
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者選定は、地方自治法施行令第167条の2第1号に基づき随意契約を交わしており、妥当であったと考えている。 ○事業内容も効果的で予算規模は適正であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部署名	社会教育課	事業実施 (予定)年度	令和3～令和7年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	
事業内容	金武町ベースボールスタジアムにおいて、プロチームのキャンプや県内外の大学、高校の合宿、県内各種大会及び国際交流試合等と多岐にわたる開催現実に向け、スタジアムの機能高度化に係る工事を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和8年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	42,467	106,002	72,119		
		(b) 予算現額	41,074	94,776	73,830		
		(c) 増減額(b-a)	▲1,393	▲11,226	1,711	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	41,074	94,776	73,830	0	0
	B. 執行済額		41,074	94,776	73,830		
	うち交付金充当額		32,859	75,820	59,064		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		1,711千円については、工事箇所の仮設費用の増に伴う増額分である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	内野スタンド設置工事の完了	目 標	()	()	(工事の完了)	()	
		実 績			工事の完了		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	令和3年度に行った実施設計をもとに工期内に工事を完了することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (8年度)
	内野スタンド改修工事の完了	目 標	()	()	()	(工事の完了)	()
		実 績				工事の完了	
	【R5成果目標(後年度)】 スタジアム利用者数:13,035人/年 プロキャンプ時等の観客数:19,870人/年	目 標	()	()	()	(13,035人/年 19,870人/年)	(6団体)
		実 績				36,825人/年 21,188人/年	
	進捗状況説明	令和3年度に行った実施設計をもとに工期内に工事を完了することができた。 また、令和5年度目標であったスタジアム利用者数及びプロキャンプ時等の観客数についても、目標達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・内野スタンドの改修を行い、利用者に対しより機能の高いスタジアムの形成を目指すとともに、安全な観戦環境を整え同スタジアムの利便性向上を図り、スポーツ交流で観光振興の促進へも繋げていく。	・内野スタンドが整備されたことで、収容できる観客数が増加するため、さらなる誘客に取り組む。
今後の取り組み方針		
・本工事を行ったことにより、これまで受け入れているプロ野球キャンプや合宿及び県内各種野球大会等を継続して受け入れるとともに、新たな大会等の利用にも繋げていく。 また、内野スタンドが整備され収容観客数が増えたことから、オープン戦等の誘致も検討していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
金武町 73,830千円 委託料 3,410千円 株式会社 渡南エンジニアリング 3,410千円 金武町ベースボールスタジアム内野スタンド 改修工事施工監理業務委託 工事請負費 70,420千円 有限会社 大豊建設 70,420千円 金武町ベースボールスタジアム内野スタンド 改修工事				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		73,830	73,830	
		交付金 充当額	市町村 負担金	
		59,064	14,766	
資金 使途 の流れ 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○請負業者については、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○適切な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費目、使途については、清算段階で検査しており、適当である。

市町村名		金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	金武町就職活動支援補助事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(11)-ア		
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成27年度～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の確保と多様な人材の活躍促進		
事業内容	雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求人・求職等の情報提供を行うと共に、相談員による就業相談や求職者並びに町内事業所の従業員のスキルアップを図る為に資格取得講座を開催する。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。							
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
			(a)当初予算額	34,335	30,792	28,764	28,764	24,721
			(b)予算現額	25,725	24,469	22,079	24,211	23,522
			(c)増減額(b-a)	-8,610	-6,323	-6,685	-4,553	-1,199
			(d)繰越額					
			A.計(b+d)	25,725	24,469	22,079	24,211	23,522
			B.執行済額	25,205	23,213	22,079	22,939	23,442
			うち交付金充当額	20,163	18,570	17,663	17,876	18,753
			次年度繰越額					
			執行率(%) (B/A)	98.0%	94.9%	100.0%	94.7%	99.7%
予算の状況の説明		減額理由として、資格取得講座委託料及びキャリア教育支援委託料で、受講日数の短縮等やテキスト制作費等が不用になったことによる減額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	各種講座開催	目 標	(11講座)	(11講座)	(10講座)	(12講座)		
		実 績	8講座	8講座	9講座	12講座		
	キャリア教育8回(小学校3回・中学校5回)	目 標	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)	(小3回・中5回)		
		実 績	小3回・中5回	小3回・中3回	小3回・中5回	小3回・中5回		
	合同企業説明会	目 標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)		
		実 績	1回	0回	1回	1回		
	達成状況説明	・各種講座については、町内求職者及び各種事業所のニーズを把握し、予定していた講座を全て開催することができた。 ・キャリア教育については、町内の全小学校・中学校に対して実施し、目標としていた実施回数を達成できた。 ・合同企業説明会については、参加企業数が12社あり、雇用につながった。						
	成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度
就業率		目 標	()	(10.14)	(10.00%)	(10.00%)	()	
		実 績		5.20%	3.44%	3.57%		
資格取得率		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		97%	86%	88%		
キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実 績		99%	95%	87%		
進捗状況説明		・就職相談や求人情報収集で当センターへ来所する方は多数いたが、希望する職種が無いのか紹介状発行を求める方が少なく、就業率が目標に届かなかった。 ・資格取得率については、受講生アンケートから講師が丁寧に教えて頂き分かりやすかった回答があり、受講生のがんばりと講師陣のよさが合格率の達成につながったと思われる。 ・キャリア教育については、自分に合う職業を探す自己分析やビジネスマナー講座及び母校出身者による職業人講話等を実施した結果、達成率87%であり、児童生徒が働くことへの関心が高まったと考えられる。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(就業率) ライフスタイルの変化によって、希望する働き方(リモート勤務や短時間勤務、休日が調整しやすいなど)が多様化してきている。 事業者と求職者のニーズ(フルタイム勤務、パート勤務、土日の就業など)が合致しないことが多くあったことが、就業率の目標を達成できなかった要因と考える。 (資格取得率) 開催している資格取得講座は、講師陣が受講生の授業内容の理解度をみながら、分かりやすく教えていることから合格率が高くなっている。 (キャリア教育) キャリア教育については、児童生徒が自らの将来を考える上で、働くことへの興味・関心、将来を計画的に取り組む態度を育成する必要がある。	(就業率) 企業と求職者のマッチングがうまくいくように面接相談等を引き続き実施し、町内雇用の拡大に努める。 (資格取得率) 実用性及び就職と結びつきが高い講座、並びにアンケートの中で取得したい資格としてニーズがある講座を開催する必要がある。 (キャリア教育) キャリア教育については、児童生徒が働くことへ興味・関心がわくよう、町内事業者や卒業生、多様な職種の方の話を聞くことが大事であると考えられる。
今後の取り組み方針		
就職相談や求人情報収集が増えているが、紹介状の発行が少ないので、丁寧に希望職種、条件を聞き取りしながら、紹介状発行までつなげる。また、就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、雇用機会の増大を図る。並びに町内の事業所の従業員のスキルアップのための講座も開催する。 キャリア教育については、引き続き学校及び各種団体等と連携し、先進的・効果的な取り組みをすることで児童生徒が働くことへの興味・関心を促すことに繋げる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23,442</td><td>23,442</td><td>18,753</td><td>4,689</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,442	23,442	18,753	4,689	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,442	23,442	18,753	4,689	0										
金武町 23,442千円 → 補助金 23,442千円 → 金武町就活支援センター 23,442千円 金武町就職活動支援補助事業														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金等交付規則に基づき適正に選定した。 ○今年度は、全ての講座が実施された。委託事業者との調整の中で不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		金武町						
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	観光地周辺環境美化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部署名	建設課、社会教育課		事業実施(予定)年度	令和５年度～令和１３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式」における安全・安心で快適な観光の推進		
事業内容	観光客の受入体制の整備を図るため、観光地へのアクセス道路及び公園(観光資源)の環境美化清掃を行うことにより、観光地としての魅力を最大限向上させる。							
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	14,276					
		(b)予算現額	15,519					
		(c)増減額(b-a)	1,243	0	0	0	0	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	15,519	0	0	0	0	
	B.執行済額		15,034					
	うち交付金充当額		12,027					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		96.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		給与改定により、報酬・期末手当・共済費などが増になったため、年度途中に増額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況				
	観光地及び観光地へのアクセス道路の環境美化の実施	目標	(観光地等の環境美化の実施)	()	()	()	()	
		実績	観光地等の環境美化の実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
	達成状況説明	観光地及び観光地へのアクセス道路について、環境美化を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%)	()	()	()	
		実績		91.6%				
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	・観光地及び観光地へのアクセス道路について、イベント等の日程を把握し、計画的に作業を実施することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 作業日程を事前に計画し、進捗状況に応じてしっかりと管理していたことが、目標達成につながったと考える。 - 作業を行う際、通行人や通行車両に注意し、事故防止に努める。 - 夏場や台風シーズンは作業量が多くなるため、それを考慮したスケジュール管理をする必要がある。	観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数等を検討する。
今後の取り組み方針		
観光客の往来が活発である今、引き続き観光地及び観光地へのアクセス道路の美化作業を継続し、町の風景や観光地としての魅力を最大限感じられる環境づくりをすることで、町の活性化や観光業の発展に寄与する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>15,034</td><td>15,034</td><td>12,027</td><td>3,007</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,034	15,034	12,027	3,007	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,034	15,034	12,027	3,007	0										
<pre> graph LR A[金武町 15,034千円] --- B[報酬 10,855千円] A --- C[職員手当 2,163千円] A --- D[共済費 1,861千円] A --- E[旅費(費用弁償) 155千円] B --- F[環境美化作業員 5名] C --- F D --- F E --- F </pre>														
資金の流 れ・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 れ・費 目・	—	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	小中学校学習等支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部署名	学校教育課	事業実施 (予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の 推進		
事業内容	町内の小中学校へ外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	36,050	34,757	38,802	23,597	26,491
		(b)予算現額	36,050	32,057	23,218	23,232	26,154
		(c)増減額(b-a)	0	▲2,700	▲15,584	▲365	▲337
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	36,050	32,057	23,218	23,232	26,154
		B.執行済額	31,151	30,991	22,786	23,232	26,154
		うち交付金充当額	24,920	24,792	18,228	18,586	20,921
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	86.4%	96.7%	98.1%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	○概ね当初の計画どおり事業が執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	日本人英語指導員配置数	目 標	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:1人)	
		実 績	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人	小学校:1人	
	外国人英語指導助手配置数	目 標	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:3人 中学校:2人)	
		実 績	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:3人 中学校:2人	
	英語コーディネーター配置数	目 標	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	
		実 績	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人	
	達成 状況 説明	○当初の計画どおり各学校へ配置し事業が執行できた。 ○毎月開催するミーティングにおいて、各学校の授業の様子の報告や授業における工夫の仕方など情報交換を行い、授業へ反映させた。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度
①小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との 平均正答率の差 -4%以上		目 標	()	(正答率の差 -4%以内 (82.5%))	(正答率の差 -4%以内 (82.6%))	(正答率の差 -4%以内 (82.5%))	()
		実 績		(正答率の差 -1.2%以内 (81.3%))	(正答率の差 -2.6%以内 (79.9%))	(正答率の差 0.3%増 (82.8%))	
②中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格 率31.6%以上		目 標	()	(合格率 31.6%以上)	(合格率 31.6%以上)	(合格率 31.6%以上)	()
		実 績		47.4%	39.8%	42.5%	
進 捗 状 況 説 明		【小学校】R5は、Silver(小学校中学年向け)においては、受験者数(45人)が前年度に続き減少しているものの、正答率は1.3%増(82.8%)となっている。Bronzed(小学校低学年向け)においては、受験者数(60人)及び正答率(82.2%)が減少している。Gold(小学校高学年向け)においては、前年度程度の受験者数(52人)及び正答率(72.5%)とともに増加している。 【中学校】英語検定全体(5級～1級まで)の受験者数はR4に比べ増加しているとともに、各級全体の合格率(42.5%)がR4に比べ2.7%(R4合格率39.8)アップしている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	【小学校】児童へのアンケート調査の結果によると、授業において英語でのゲームなどを実施することにより友達と楽しみながら英語活動を行っていること、また、新しい英語を覚えること、上手に話せること、友達と英語を使って話すことなどの割合が増加している。英語を話すことが楽しいか、もっと英語を話せるようになりたいかの設問に対して高い割合で前向きな結果となっており、会話によるコミュニケーション意欲に対する興味が高まっていることが伺える。 【中学校】生徒へのアンケート調査の結果によると、すべての設問に肯定的な回答を得ており、小学校からの継続的な英語活動が下支えとなっていることが伺える。また、英語検定の結果として令和5年度の英検全体の受検者数(449人)と合格者(191人)増加しており、英語に対する関心の高まっているとともに、将来を見据え英語を理解しようとする姿勢が伺える。	【小学校】児童へのアンケート調査の結果によると、授業で英語で話しかける、授業以外で先生や友達に話しかけるなど、より実践的な英語活動においては、割合が小さくなっていることから教諭、支援員のより一層の工夫が求められると考える。 【中学校】英検全体(5級～準1級)の合格率に関しては、35%～45%前後(R3.47.7%、R4.39.8%、R5.42.5%)となっているが、難易度が上がるにつれて合格率が下がっているのが現状であるため、文法などの基礎的な学習の工夫が必要と考える。
今後の取り組み方針		
小学校においては、英語教育特例校として他の市町村と比較し英語に触れ合う機会があることを踏まえ、コミュニケーションを図る素地となる素質・能力を更に育成することを目指す。また、英検Jrの受検者数増及び正答率アップに向けた取り組みを積極的に実施するとともに、中学校進学前に英語検定3級受検に取り組みるよう積極的に働きかけていく。 中学校においては、現状や課題を分析することで英語のカリキュラムなどへ反映させるなど教諭、英語コーディネーター、英語教育指導員が連携して取り組む。また、英語検定を受験する生徒が年々増加していることを踏まえ、合格率のアップに向けて取り組みを行っていく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26,335</td><td>26,154</td><td>20,921</td><td>5,233</td><td>181</td></tr> </tbody> </table> 金武町 26,154千円 報酬 18,254千円 職員手当 3,640千円 共済費 3,450千円 旅費(費用弁償) 810千円 ほか交付対象外経費 181千円 中川小学校 1名 〔 外国人英語指導員 1名 〕 金武小学校 2名 〔 日本人英語指導員 1名 外国人英語指導助手 1名 〕 教育委員会 1名 〔 英語コーディネーター 1名 〕 嘉芸小学校1名 〔 外国人英語指導助手 1名 〕 金武中学校 2名 〔 外国人英語指導員 2名 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	26,335	26,154	20,921	5,233	181
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
26,335	26,154	20,921	5,233	181										
資金の流 使途の流 点検・費 目・費 目・費 目・費	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	—	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	特別支援教育支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	
事業内容	町内各小中学校において特別な支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学級担任と連携して適切な特別支援教育を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	36,050	34,757	38,802	23,597	47,732
		(b)予算現額	36,050	32,057	23,218	23,232	35,659
		(c)増減額(b-a)	0	▲2,700	▲15,584	▲365	▲12,073
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	36,050	32,057	23,218	23,232	35,659
		B.執行済額	31,151	30,991	22,786	23,232	35,001
		うち交付金充当額	24,920	24,792	18,228	18,586	28,000
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	86.4%	96.7%	98.1%	100.0%	98.2%
	予算の状況の説明	○概ね当初の計画どおり事業が執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	特別支援教育支援員の配置 19名 (内訳) ○幼稚園1人 ○小学校14名 ○中学校4名	目 標	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校14人 中学校4人)	
		実 績	幼稚園1人 小学校11人 中学校4人	小学校12人 中学校4人	幼稚園1人 小学校12人 中学校2人	幼稚園1人 小学校10人 中学校3人	
達成状況説明	○幼稚園に1人、小学校に10人、中学校に3人の計14人の支援員を配置した。 ○小学校、中学校ともに当初予定していた配置数に足りず、通年で募集を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		87%	88%	87%	
	進捗状況説明	○小学校及び中学校において予定していた人員を確保することが出来なかったが、児童・生徒が滞りなく授業を受けれるよう指導主事と学校現場で協議し、円滑な学校運営に努めた。保護者へのアンケート結果については、87%が学校生活や学習上の困難が改善されたと回答があった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○本事業における取り組みについては、概ね保護者の理解を得て実施している状況である。 ○年々、配置予定人数に対する支援員の確保が課題である。 ○小学校及び中学校において予定していた人員を確保することが出来なかったが、児童・生徒の支援の必要性を指導主事と学校現場で協議し、適材適所で人材を活用したことで目標が達成できたと考える。	○支援員については、町で設置している就活支援センター等と情報共有し、確保に努めていく。
今後の取り組み方針		
○支援員の確保については、近隣市町村の教育委員会や町で設置している就活支援センター等と情報を共有し確保に努めていく。 ○支援員の業務については、教育委員会の指導主事、支援員及び支援教室担当教諭などと連携し、研修や講話等を実施しながら引き続き支援内容の充実に努めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<table><tr><td rowspan="2">総事業費</td><td rowspan="2">交付対象事業費</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">交付対象外経費</td></tr><tr><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td></tr><tr><td>35,001</td><td>35,001</td><td>28,000</td><td>7,001</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費	交付金充当額	市町村負担金	35,001	35,001	28,000	7,001	0
総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費												
		交付金充当額	市町村負担金													
35,001	35,001	28,000	7,001	0												
金武町 35,001千円 報酬 25,271千円 職員手当 4,510千円 共済費 4,069千円 旅費 1,151千円 特別支援教育支援員 中川幼稚園 1人 中川小学校 2人 金武小学校 5人 嘉芸小学校 3人 金武中学校 3人																
資金の流れ、 点検項目、 費目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	—	支出先の選定方法は妥当か。		○予算規模については事業内容に見合った適正な規模であるが、人が見つけれなかったことが課題である。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	金武町ハワイ短期留学派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	中学生・高校生12人をハワイへ派遣し、国際的な広い視野を持つ人材を育成する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	R2年度(未実施)	R3年度(未実施)	R4年度(未実施)	R5年度	
		(b)予算現額				17,309	
		(c)増減額(b-a)				▲7,012	
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)				10,297	
	B.執行済額					10,297	
		うち交付金充当額				8,237	
		次年度繰越額				0	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!
	予算の状況の説明		○概ね当初の計画どおり事業が執行できた。 増減については、円安等の影響により、渡航費の目処が立たなかったための減額である。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	○町内在住の中学生・高校生(12人)及び引率職員(2人)をハワイへ派遣	目 標	()	()	()	(生徒12人引率2人)	
		実 績				生徒12人引率2人	
	○「金武町ハワイ派遣事業体験記」の作成及び発刊(帰国後)	目 標	()	()	()	(作成及び発刊)	
		実 績				作成及び発刊	
達成状況説明	○派遣する生徒については、予定通り12人(中学生3人、高校生9人)を派遣することが出来た。引率する職員についても、2人派遣することが出来た。 ○体験記については、現地での学習、生活、異文化、町人会との交流など様々な体験をまとめた冊子を作成することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	()	()	(80%以上)	()
		実 績				100%	
	進捗状況説明	○アンケートの結果については、すべての生徒が国際的な視野が広がったと感じている。また、米国だけではなく他の国の文化や習慣を体験したいとの感想もあった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○留学先であるハワイ東海大学との事前調整を頻繁に行ったことで、行程や講義を予定どおり実施できた。 ○短期留学へ派遣する前の生徒へ向けての研修、保護者説明会等の日程が流動的になっていた。	○行程や講義については、滞りなく事業が実施できるよう引き続きハワイ東海大学や町人会等と連携し取り組む。 ○研修や保護者説明会等については、教育委員会内で協議し計画的に実施できるよう努めていきたい。
今後の取り組み方針		
○本事業に参加した生徒の感想やアンケートなどから、生活や文化の違いはもとより現地の人々と接する際の英会話が大事との感想があった。留学先であるハワイ東海大学内や町人会の方々とより英会話でコミュニケーションと取れるような行程や講義を実施していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>10,447</td><td>10,297</td><td>8,237</td><td>2,060</td><td>150</td></tr> </table> 金武町 10,297千円 報償費 359千円 旅費 1,652千円 需用費 63千円 役務費 97千円 使用料及び賃借料 384千円 負担金、補助及び交付金 7,742千円 学校教育課長 引率職員 (2人) 学校教育課長 赤道印刷 JALエービーシー 学校教育課長 学校教育課長 派遣生徒保護者 (12人) ほか交付対象外経費 150千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,447	10,297	8,237	2,060	150
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,447	10,297	8,237	2,060	150										
資金の 使途の 流れ・ 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は町の規定に基づき選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合っており適正であったと考える。 ○費用や使途については、精算段階で検査をしており、目的に即し必要なものであったと考えている。 ○受益者である派遣生徒保護者は総事業費の2割5分を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	金武町海外移住者子弟等研修生受入事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア		
担当部署名	企画課	事業実施 (予定)年度	平成29～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	ウチナーネットワークの継承と 発展		
事業内容	本町と海外移住国との友好親善及び人材育成に資することを目的に、海外移住者子弟等研修生の受け入れを実施する。 研修期間は、8月から12月までの約4カ月間で、語学研修をはじめ研修生が希望または専門とする研修のほか、琉球舞踊や三線など、沖縄の 伝統芸能について理解を深め習得を目指し沖縄文化教養研修を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,194				6,969
		(b)予算現額	2,732				6,615
		(c)増減額(b-a)	-3,462	0	0	0	-354
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	2,732	0	0	0	6,615	
	B. 執行済額		2732			6,457	
	うち交付金充当額		2185			5,165	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.6%
予算の状況の説明		当初の計画通り、研修の講師謝礼金をはじめとした事務費等を、予定通り執行できたことから執行率が高くなったと考 える。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	受入人数:3人	目 標	(3人)	()	()	()	
		実 績	3人				
	研修期間:8月～12月の間の約4ヶ月間	目 標	(4カ月)	()	()	()	
		実 績	4カ月				
	研修報告(閉講式):1回	目 標	(1回)	()	()	()	
		実 績	1回				
	達成 状 況 説 明	4年振りの事業実施だったが、目標人数の3人を受け入れることができた。 研修期間について、予定通り8月下旬～12月中旬までの約4ヶ月間の研修を実施・終了することができた。 研修報告である閉講式についても、問題なく実施することができた。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度
研修生が所属する各国金武町人会にアンケートを実施し、「研修に参加した子弟が、帰国後本町と移住国におけるネットワーク強化に貢献できる人材として、活動できているか」について80%以上を目指し、当該事業のあり方を検証する。		目 標	()	(80%)	()	()	()
		実 績		100%			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗 状 況 説 明		各国金武町人会へアンケートを実施した結果、帰国後、研修生達は、町人会活動に参加している。また、本町からの派遣研修生と交 流しているとの回答が得られ、目標である80%を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	JICA主催の日系社会研修で受けた講義が、日本語とスペイン語の逐次通訳で行われていたため、沖縄の歴史や文化について、内容をより深く理解することができたことが、目標値を達成した一因となった。	研修生のほとんどが3世以上であることから、日本語力の課題があるため、各国町人会協力のもと入国前の事前学習や、入国後の日本語力向上に向けた環境づくりを行う。
今後の取り組み方針		
今後も引き続き、研修生が沖縄の歴史や文化への理解を深め、興味を持てるよう、多言語に対応した研修を実施する。また、実践研修や交流の場で基本的な日本語が理解できるよう、日本語研修の内容の充実や、研修以外の場でも日本語を話す機会を増やし、研修内容の理解度、コミュニケーション能力の向上につなげる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		6,703	6,457	246
		交付金充当額	市町村負担金	
		5,165	1,292	
金武町 6,457千円	事務費 2,737千円	会計年度任用職員(1名) 778千円	非常勤職員報酬	
		会計年度任用職員(1名) 113千円	共済組合負担金、社会保険料	
		講師(4名) 280千円	研修講師謝礼金	
		職員(1名) 65千円	視察研修の随行旅費	
		O・Aプラザ仲間 4千円	研修修了に係る証書ファイル	
		花Vancam 10千円	研修開閉講式に係る盛花	
		株式会社 尚生堂 363千円	研修報告書印刷製本費	
		金武文化堂 9千円	研修に係る文書発送用切手	
		日本郵便株式会社 60千円	報告書郵送料	
		職員(1名) 19千円	離島視察観光バス等利用料	
		講師(5名) 613千円	研修講師手数料	
		京都屋クリーニング 1千円	研修開閉講式に係るクリーニング代	
		ライフプラザパートナーズ 376千円	研修期間中の研修生の保険料	
		学校法人智帆学園 6千円	宿泊施設の火災保険料	
		オオシロインターナショナル 40千円	報告書に係る文書の翻訳	
	使用料及び賃借料 707千円	職員(1名) 9千円	離島視察研修時のレンタカー代	
		職員(1名) 8千円	視察研修時の随行職員入場料	
		学校法人智帆学園 690千円	研修生の宿泊施設賃借料	
負担金、補助及び交付金 3,013千円	研修生(3人)名 3,013千円	研修生の生活及び研修に係る費用		
		(ほか交付対象外経費 246千円)		
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各国町人会からの推薦に基づき研修生を選定しており、妥当だったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、研修期間及び人数に対して適正な規模だったと考える。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○研修以外の経費については、受益者(研修生)負担であり、妥当であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、目的に即し必要のものであったと判断した。	

市町村名		金武町						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	金武町移民の日記念事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ウ		
担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成29～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化を通じた交流		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	12月5日の金武町移民の日に當山久三顕彰式を実施し、沖縄から初めての移民を送り出した當山久三の偉業を讃え功績を伝えとともに、移民歴史を後世に伝えるため移民をテーマとしたパネル展を実施した。また、移民関連資料を展示している當山記念館の日本語資料を多言語化し、外国からの訪問者が利用できるよう翻訳資料をファイルにまとめた。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,548	11,196	2,949	0	2,771	
		(b)予算現額	3,548	9,150	2,736	0	2,441	
		(c)増減額(b-a)	0	▲2,046	▲213	0	▲330	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	3,548	9,150	2,736	0	2,441	
	B.執行済額		2,702	9,182	2736	0	2,377	
	うち交付金充当額		2,101	7,345	2185	0	1,901	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		76.2%	100.3%	100.0%		97.4%	
	予算の状況の説明		当初予定していた事業内容の変更に伴い、3月の最終補正で330千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)			達成状況				
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	○當山久三顕彰式の実施 ○當山久三等の移民関連資料を活用した学習会の実施 ○公演会等のイベント実施 ○移民関連展示会の実施			目 標 ()	()	世界のシマヌチュ大会へ集約のため事業未実施	()	
				実 績				
				目 標 ()	()	()	()	
				実 績				
達成状況説明	12月5日の移民の日に當山久三顕彰式及び移民関連資料パネル展示を実施し、移民の歴史的背景、移民事業に尽力した本町の偉人や移住地の様子などを町民に広く周知するとともに、海外移住者子弟等研修生などに移民関連の学習会を実施し、本町と移住地の深い繋がりやルーツを再認識する学びの機会を提供した。当初は公演会等も予定していたが、コロナ後、當山記念館への外国人訪問者が増加し、多言語での対応を求められるが、職員での対応は困難であることから、資料を多言語化する事業に変更し、當山記念館の学習機能を向上させた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)			基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	①移民の日関連事業参加者数:延約500人以上			目 標 ()	()	()	(500人)	()
				実 績			182人	
	②参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)			目 標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
				実 績	83.60%	97.80%	94.70%	
	進捗状況説明	当初予定していた公演会等のイベントを実施することができなかったため参加者数が目標を下回ったが、當山久三顕彰式、移民関連資料のパネル展、移民学習会は予定通り実施し、参加者へのアンケートでは、「移民の歴史に対する理解が深まったか」については80%以上となっており、目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初予定していた公演会等のイベントを実施することができなかったため、参加者数が目標を下回った。 本事業は移民の歴史を後世に継承することを目的に実施しているが、若い世代の参加が少ないことが課題である。	若い世代の参加率を向上させるため、若者向けのワークショップ等の実施も含めて検討する。
今後の取り組み方針		
町民が多く集まる町のイベントの開催日に合わせたパネル展の実施や、町立図書館、町史編さん室等の関係機関と連携し、幅広い世代が参加できるよう取り組んでいきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,397	2,377	1,901	476	20

金武町
2,377千円

事務費
46千円

需用費
42千円

役務費
4千円

委託料
2,331千円

移民の日記念事業関連業務委託料
(パネル展設営・撤去・ポスター制作)
株式会社正広コーポレーション
271千円

当山記念館資料等多言語翻訳等業務委託料
有限会社オオシロインターナショナル
1,760千円

当山記念館資料作成業務委託料
丸正印刷株式会社
300千円

ほか交付対象外経費 20千円

〔 当山久三顕彰式に係る供物代
当山久三顕彰式に係る花代 〕

〔 顕彰式案内文書発送用切手代
顕彰式テーブルクロスのカリーニング代 〕

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容に見合っており適正であったと考える。 ○費用や使途については、精算段階で検査をしており、目的に即し必要なものであったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町							
令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-①	改製原戸籍の附票電子化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(9)-イ			
担当部署名	住民生活課	事業実施(予定)年度	令和５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	残された戦後処理問題の解決 Ⅲ-8			
事業内容	過去の改製原戸籍の附票は、紙媒体による保存で劣化が激しいため、電算化することにより、劣化・滅失防止及び業務の迅速化を図り、今後も安定的かつ継続的に住民からの写しの交付請求に対して、滞りなくサービスを提供する。							
効果発現年度	☒ 当年度 ☐ 後年度(年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,075					
		(b) 予算現額	9,075					
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	9,075	0	0	0	0	
	B. 執行済額		9,075					
	うち交付金充当額		7,260					
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初の計画どおり、執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況					
	・除附票の電子化 2,100枚 ・改製原附票の電子化 5,500枚 ・平成改製原附票の電子化 5,300枚	目 標	R5年度 除附票の電子化 2,100枚 改製原附票の電子化 5,500枚 平成改製原附票の電子化 5,300枚	R6年度	R7年度	R8年度		
		実 績	除附票の電子化 2,100枚 改製原附票の電子化 5,500枚 平成改製原附票の電子化 5,300枚					
	達成状況説明	予定していた除附票、改製原附票、平成改製原附票のすべてについて、電子化することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	除附票、改製原附票、平成改製原附票の電子化率	目 標	()	(100%)	()	()	()	
		実 績		100%				
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	過去の改製原戸籍の附票を100%電子化できたことで、住民からの写しの交付請求に対して、滞りなくサービスを提供できている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・紙の書類を事前に整理して準備していたことが、目標達成につながった要因と考える。	・電子化したことにより、既存の戸籍システム内にデータが入ったため、システムの維持管理を適切に行う必要がある。
今後の取り組み方針		
電子化したことにより、住民からの写しの交付請求に対しては、速やかに対応できるようにする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,075</td><td>9,075</td><td>7,260</td><td>1,815</td><td>0</td></tr> </table> 金武町 9,075千円 → 委託料 9,075千円 → 富士フイルムシステムサービス株式会社 9,075千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,075	9,075	7,260	1,815	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,075	9,075	7,260	1,815	0										
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者選定は、地方自治法施行令第167条の2第2号に基づき随意契約を交わしており、妥当であったと考えている。 ○事業内容も効果的で予算規模は適正であったと考える。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												